

キャブネット・みやぎ Newsletter

No.54 2019年8月



キャブネット・みやぎ第20期 総会報告

はじめに

代表 村松敦子

- 1 元号が変わりました。キャブネットの活動も20年を経過し、現状に合わせた変革が求められていると思います。
- 2 キャブネットの19期(2018年4月~2019年3月)の主な活動報告と今後の方向性について。
 - ① 電話相談は477件(新規41件)です。
前年度は256件(新規42件)で、新規が1件減少で、継続の相談件数が急増しています。広報活動に努めたことの反映とも思えますが、新規の件数が増加しないことから、まだまだ虐待環境にいる家族にキャブネットの存在が届いていないことだと思います。工夫が求められています。
電話相談員の実働は現在32名ですので、引き続き電話相談員の増員を目指します。
 - ② 昨年も指摘しましたが、キャブネットの力量を個別ケース検討会議においても利用していただけるよう、要保護児童対策地域協議会の実務者会議のメンバーとして位置づけてくださっている、仙台市、富谷市、多賀城市への働きかけが必要です。
 - ③ 母親グループ(託児付)への参加は、新規加入が4名で、総184名、平均参加人数2.8人です。前々年度より減少傾向が続いています。
言いつばなし、聞きつばなしのグループは、自分をみつめ、振り返り、明日への行動につなげていくもので有用です。このグループの効用を広め、活用してもらうための工夫が必要です。
 - ④ 予防活動としての「楽になりたい子育て講座」は8年が経過し、2回開催が定着し、好評です。殴らなくても、怒鳴らなくても子育ては出来ます。これを文化にまで高めましょう。電話相談などでの「楽になりたい子育て講座」参加の呼びかけをして、このプログラムを更に養育者に広げていきます。

3 県や市、政党や政治家への働きかけも視野に入れ、キャプネットの方向性を今期も話し合ひましよう。

前年度、会員数225名だと年間で30万円前後の赤字となるとご報告いたしましたが、今期50万円の赤字が現実となりました。運営委員会で、月会費1000円の維持会員を募集することが決定されました。ご協力をお願いいたします。

今後とも宜しくご支援をお願いいたします。



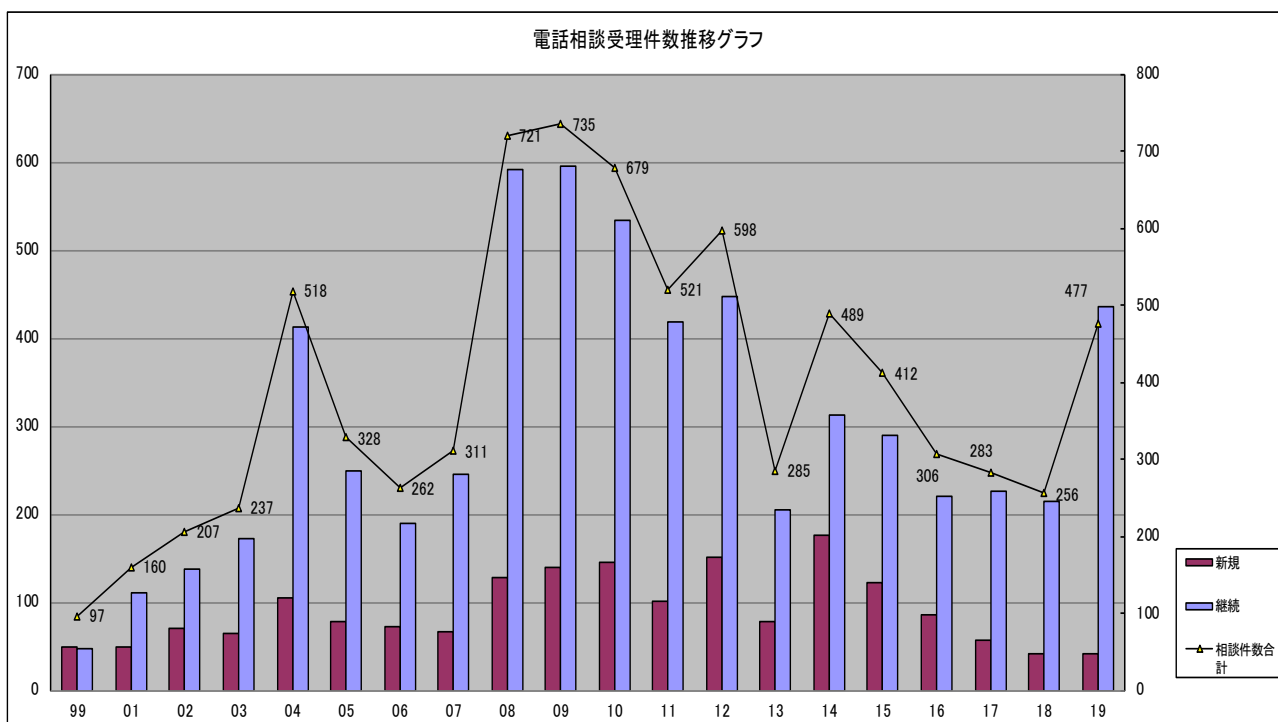
1. 電話相談

1) 電話相談体制について

電話相談はキャプネット・みやぎの基幹支援事業です。昨今、虐待に対する関心が深まる中、相談件数は急激に増えています。こうした状況の中で広報活動に一層力を入れ、LINE 電話の対応、フェイスブック、ツイッター、ホームページ、FM ラジオ出演、他団体との連携など情報配信に努力しています。電話相談は孤立を防ぎ、心の元気を取り戻すことができるよう相談員は研修会などで研鑽を積んでいます。

年 月	受付	回線
1999年 10月1期	週1日 土曜午後のみ	1回線
2000年 5月2期	週2日 月曜 土曜(10:00~16:00)	1回線
2001年 2月3期	週3日 月曜・水曜・土曜(10:00~16:00)	1回線
2002年 2月4期	週3日 月曜・水曜・土曜(10:00~16:00)	2回線
2007年 12月9期	週6日 月曜~土曜(10:00~16:00)	2回線
2010年 8月12期	週6日 月曜~土曜(10:00~16:00)	2回線+全国ナビ
2014年 10月16期	週6日 月曜~土曜(10:00~13:00)	2回線

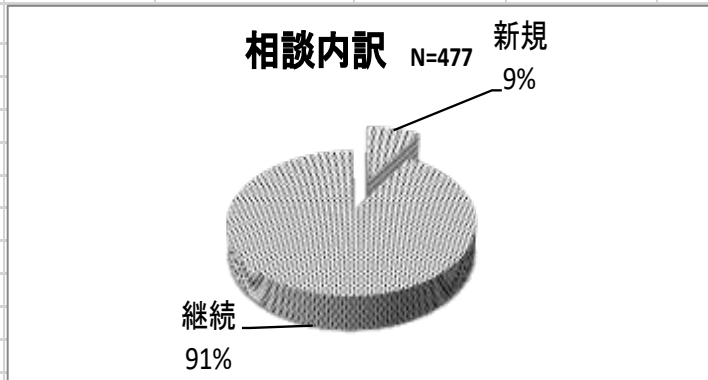
年 月	電話相談員実働数	1日の当番人員数
2014年 15期	38人	4人
2015年 16期	40人	前期4人 後期2人
2016年 17期	32人	2人
2017年 18期	33人	2人
2018年 19期	32人	2人



第19期電話相談統計（2018年4月1日～2019年3月31日）

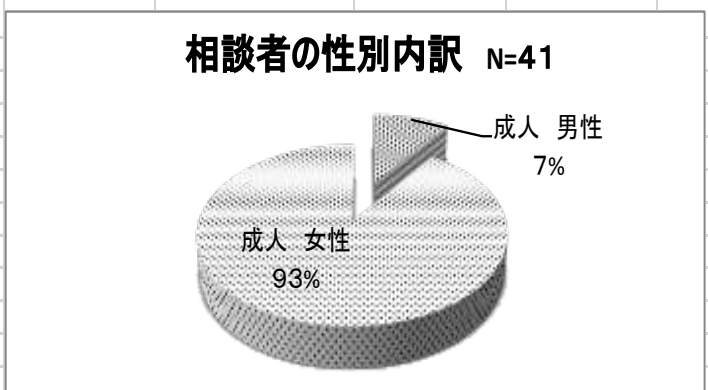
1 電話相談総合統計

稼働日数	290日
受案件数	
内訳	件数
新規	41
継続	436
合計	477
一日平均受理数	1.6件

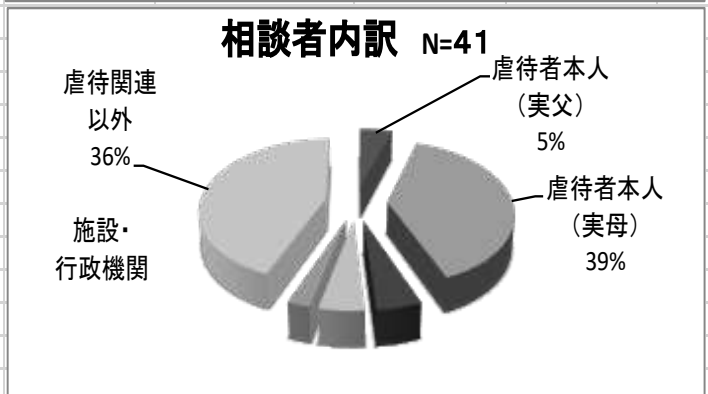


2 新規相談に関する統計(1)

新規相談者性別 (n=124)	
成人 男	4
成人 女	37
未成年 男	0
未成年 女	0
相談者合計	41



新規相談者内訳(誰がかけてきたか)	
虐待者本人(実父)	2
虐待者本人(実母)	16
実父母以外の虐待者	
被虐待者	2
配偶者・親族	
近隣・第三者	2
施設・行政機関	1
虐待関連以外	18
不明	
相談者合計	41



新規相談内容(重複有)		
虐待関連	現在の虐待	15
	現在の被虐待	
	過去の虐待	4
	過去の被虐待	4
虐待に関連しそうな相談	育児不安	14
	非行問題	
	いじめ	
	不登校	
	対人関係	1
	家庭内暴力	1
	DV	2
	DV以外の夫婦問題	1
	嫁姑問題	
	学校・近隣への不満	3
心の病気	5	
経済苦	3	
その他	10	

4 新規相談 現在の虐待・被虐待に関する待統計

虐待内容の内訳

虐待内容	件数 重複)
身体的虐待	6
心理的虐待	11
ネグレクト	1
性的虐待	
不明	2

リスク要因

リスク要因	件数 重複)
親のリスク	5
子ども側のリスク	3
家族要因	3
孤立した育児	3
経済苦	
その他、不明	3

虐待者の居住地

仙台市	7
県北	
県南	
県外	
不明	12

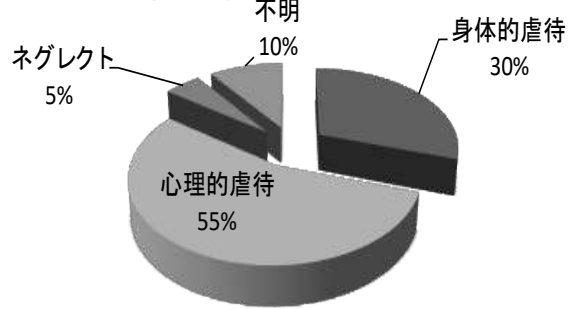
被虐待児の年齢

年齢	件数
0歳	1
1歳	1
2歳	4
3歳	2
4歳	2
5歳	
6歳	1
不明未就学児	
7歳	2
8歳	
9歳	
10歳	
11歳	1
12歳	2
13歳	
14歳	1
15歳	
16歳	
17歳	1
18歳	
19歳	
不明就学	2
成人	

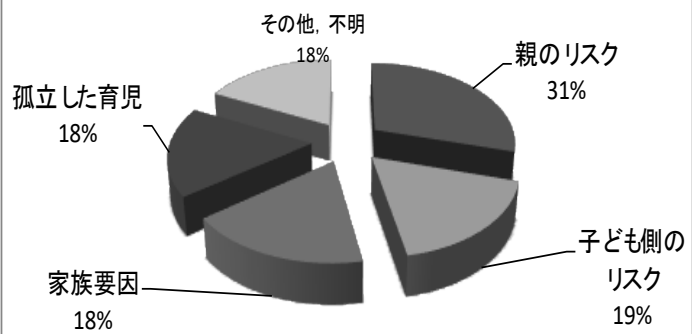
虐待者の年齢

10代	
20代	
30代	1
40代	1
50代	
不明	13

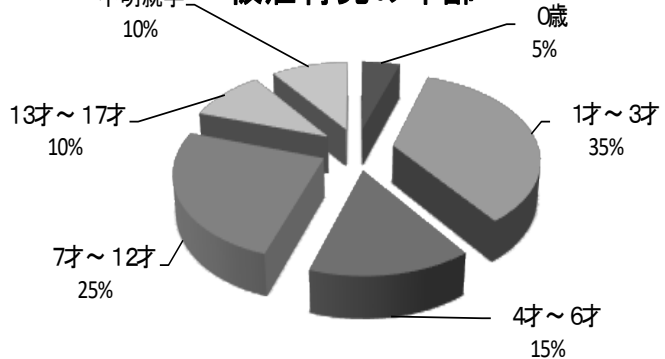
虐待内容内訳 (重複選択)



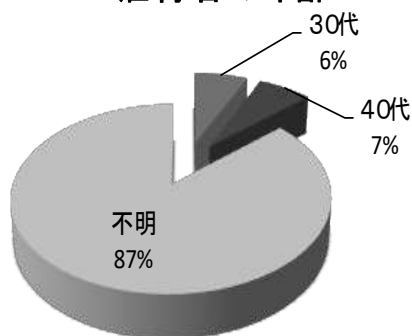
虐待リスク要因 (重複選択)



被虐待児の年齢



虐待者の年齢



2) 電話相談員養成講座

電話相談員養成講座は設立当初から継続し、講座としては21期生養成講座となりました。

第21期電話相談員ボランティア養成講座

日時	講師名	講座内容
9月1日(土) 10:00~12:00	弁護士 村松 敦子	子ども虐待とは キャブネットみやぎの活動について
9月15日(土) 10:00~12:00	仙台市立病院 救命救急センター長 小児科医 村田 祐二	虐待の要因と背景
9月29日(土) 10:00~12:00	東北会病院 ソーシャルワーカー 鈴木 俊博	虐待防止の制度と資源
9月29日(土) 13:30~15:30	東北会病院院長 精神科医 石川 達 (代行 鈴木 俊博)	養育者の支援
10月27日(土) 10:00~12:00	ワナ・クリニック カウンセラー 大和田 誠子	自分を知るワーク

専門(ロールプレイ)講座

日程 2018年 12月15日(土)

時間 講座① 13:00~14:30

講座② 14:45~16:15

第21期電話相談員オリエンテーション

日程 2018年 2月 9日

3) 電話相談員研修について

- ・ 月一回の相談員定例会を円滑な電話相談運営、情報の共有と相談員の相互理解の場とし、また、内外の講師による研修や事例検討、スーパービジョングループの報告など相談員のスキルアップの場としています。今期は7月14日に一日研修として2名の外部講師を招き研鑽を深める事ができました。
- ・ グループスーパービジョンを3グループ編成で実施。スーパーバイザーもグループ固定ではなく定期的に交替して相談員研修の機会均等を図り、個別ケース対応や相談の質向上に努めました。

7月14日 外部講師研修

① 宮城県警察本部少年課 少年相談指導官 石原智子氏

「宮城県内の非行少年の現状」(少年・家族・社会との関係性、立ち直り支援について)

② NPO 法人 萌友 代表芳賀隆太郎氏・芳賀ヒロ子氏

「ホームレスって?」(自立支援の手立て・虐待との関連について)

2. 支援活動

1) 地域ネットワーク

19期での地域ネットワークの取り組みは以下の通りです。

地域ネットワーク関連会議

2018年

- 5月18日 塩釜市個別ケース検討会 助言
- 24日 仙台市要保護児童対策地域協議会 代表者会議
- 29日 青葉区宮城総合支所 個別ケース検討会
- 6月11日 富谷市児童等虐待防止連絡協議会
- 14日 多賀城市要保護児童対策地域協議会 実務者会議①
- 15日 多賀城市要保護児童対策地域協議会 実務者会議②
- 22日 宮城野区要保護児童対策地域協議会 実務者会議
- 29日 青葉区要保護児童対策地域協議会 実務者会議
- 太白区要保護児童対策地域協議会 実務者会議
- 7月 6日 若林区要保護児童対策地域協議会 実務者会議
- 15日 泉区要保護児童対策地域協議会 実務者会議
- 8月28日 青葉区宮城総合支所 個別ケース検討会
- 10月11日 多賀城市要保護児童対策地域協議会 実務者会議①
- 12日 多賀城市要保護児童対策地域協議会 実務者会議②
- 19日 宮城野区要保護児童対策地域協議会 実務者会議
- 26日 青葉区要保護児童対策地域協議会 実務者会議
- 31日 若林区要保護児童対策地域協議会 実務者会議
- 11月 1日 太白区要保護児童対策地域協議会 実務者会議
- 2日 富谷市児童等虐待防止連絡協議会
- 15日 青葉区宮城総合支所 個別ケース検討会
- 14日 泉区要保護児童対策地域協議会 実務者会議

12月10日 大和町虐待防止対策地域連絡協議会

2019年

- 1月30日 宮城県子ども虐待対策連絡協議会
- 2月21日 青葉区宮城総合支所 個別ケース検討会
- 多賀城市要保護児童対策地域協議会 実務者会議①
- 22日 宮城野区要保護児童対策地域協議会 実務者会議
- 多賀城市要保護児童対策地域協議会 実務者会議②
- 青葉区要保護児童対策地域協議会 実務者会議
- 27日 泉区要保護児童対策地域協議会 実務者会議
- 3月 1日 若林区要保護児童対策地域協議会 実務者会議
- 4日 太白区要保護児童対策地域協議会 実務者会議

19期は個別のケース検討会での助言要請が5件あり、その中で3年に渡り定期的に行われているケースが4件含まれています。

3) 母親グループ事業

(1) 19期実績

個人別グループ参加頻度

2000.10~2018.03

2018年4月～2019年3月 母親グループ参加者内訳

年月	回数	グループ参加者	初回面談	託児数
2018年4月	4	16	1	4
2018年5月	4	14	0	4
2018年6月	4	14	0	5
2018年7月	4	12	0	7
2018年8月	4	9	0	7
2018年9月	4	10	0	4
2018年10月	4	8	0	3
2018年11月	4	8	0	2
2018年12月	4	14	2	6
2019年1月	4	10	0	4
2019年2月	4	8	0	2
2019年3月	3	7	1	3
合計	47	130	4	51

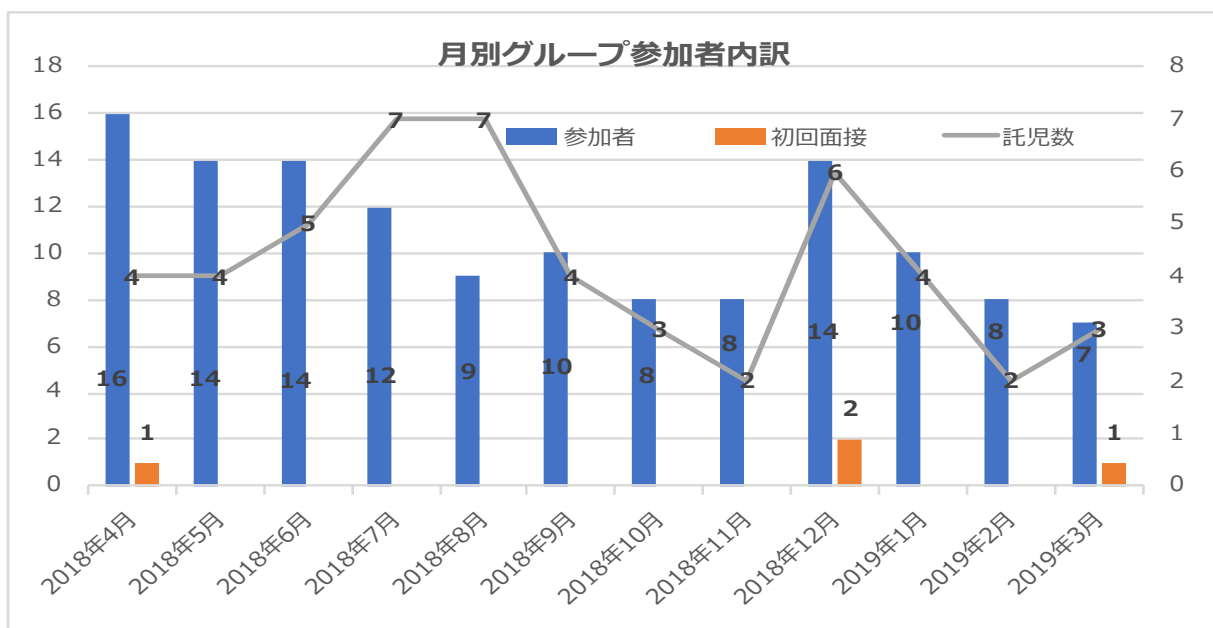
登録者数 184人 (新規7人)

(参加者の新規参加日はそれぞれ異なります)

順位	ID	回数(延べ)
1	47	246
2	37	186
3	60	162
4	131	156
5	97	154
6	152	140
7	136	139
8	91	133
9	92	120
10	99	120
11	164	118
12	135	112
13	78	111
14	70	108
15	74	108
16	79	103
17	150	97
18	108	93
19	168	86
20	32	84

前期(2018/4~9)は延べ75人で平均人3.1人、後期

(2018/10~2019/3)は延べ55人で平均2.3人となり、19期全体で延べ130人の参加で平均は2.8人となりました。初回面談(新規参加)は4名ありました。



3. 広報・啓発

1) ニュースレター発行

52号 2018年 8月

53号 2019年 3月

2) 講演会・市民講座の開催

2018年

6月23日 キャプネット・みやぎ19期記念講演会

「マルトリートメントと発達障害」～隠れている愛着障害～

講師 福島県立医科大学 横山 浩之 教授

2) 報道取材

7月28日 河北新報社 国の虐待緊急対策について取材

4) 講師派遣

2018年

5月22日 仙台市子供相談支援センター職員研修 講師派遣

7月17日 アスク富沢保育園職員研修① 講師派遣

24日 名取市教育委員会公民館講習① 講師派遣

8月 2日 仙台弁護士会 児童虐待研究会 キャプネット・みやぎの活動報告

8日 名取市教育委員会公民館講習② 講師派遣

9月16日 宮城保育専門学校同窓会早苗会研修 講師派遣

20日 名取子育て応援団ゆうわ ホームビジター養成講座 講師派遣

10月23日 のびすく泉中央 育ちの楽校 講師派遣

11月 7日 宮城県教育委員会 子育てサポーター養成講座 講師派遣

18日 ママ・パパライン仙台 子育て応援講座 講師派遣

23日 虐待防止県北シンポジウム 講師派遣

2019年

1月22日 日本保育サービス アスク保育園職員研修 講師派遣

30日 丸森町民生委員児童委員研修 講師派遣

3月18日 宮城県子ども・若者支援会議 虐待対応現状報告

5) 広報活動

4月16日 fm いずみ「Dairy Cafe」出演

6月11日 同上

8月20日 同上

9月10日 同上

10月23日「笑顔で働きたいママのフェスタ」ブース出展

10月23日 Twitter 開設

10月28日「子どもの虐待防止推進全国フォーラム in みやぎ」パネル展示

12月 1日「日本子ども虐待防止学会おかやま大会」パネル展示

12月18日 子育て応援アプリ「まちなび」で「お悩みQ&A」コラム開始

(以後、月1～2回更新)

4. 予防活動

『樂になりたい子育て講座』活動報告

「子育て講座」の予防活動は8年が経過しました。第17回及び第18回共に、トレーナー4名で活動を継続することができました。託児スタッフは、電話相談員6名と、キャプネット会員協力者1名から協力を得て、託児する子どもの人数に合わせ、ローテーションを組みながら託児を行いました。受講者は2回の講座で合計10名でしたが、アンケートからも分かるように高評価を得ることができました。

クラス評価の結果を見ると、受講者には好意的に受け入れられた様子が分かります。特に、「ロールプレイが有益であった」「他の母親にも勧めたい」という感想が多く、トレーナーがそれぞれの家庭の状況に合わせた練習を工夫しながら母親と行う講座を、今後も継続して開く意義が強く感じられました。

第17回子育て講座 5月11日・18日・25日 6月1日・8日・15日 (毎週金曜日)

第18回子育て講座 10月13日・20日・27日 11月3日・10日・17日 (毎週土曜日)



『樂になりたい子育て講座』 第17回・第18回 「クラス評価」 アンケート集計
 (2018年5月・10月) 受講者：10名 回収：9名

質問1 講座のセッションはあなたが親として、子どもに教育するのに有益なものとなりましたか？
質問2 教材は適切でしたか？
質問3 講師はあなたの質問に適切に答えてくれましたか？
質問4 講師は子どもをどう教育していくのかに有用になるような例をたくさんあなたに話してくれましたか？
質問5 このセッションはあなたの家族に良い変化をもたらせましたか？

S1：わかりやすいコミュニケーション
 S2：良い結果・悪い結果
 S3：効果的なほめ方
 S4：予防的教育法
 S5：問題行動を正す教育法
 S6：自分自身をコントロールする教育法
 (S→セッション)

評価	質問1	質問2	質問3	質問4	質問5
7	4	3	7	7	2
6	4	4	1	1	3
5	1	2	1	1	3
4					1
3					
2					
1					

《質問6》どのアクティビティがあなたにとって有益でしたか？



評価	講座	ロールプレイ	ディスカッション	ビデオ	宿題
7	2	1	1	1	
6	1	4	4	2	2
5	3	1	1	3	
4					4
3					
2					
1					
無回答	1	1	2	2	2
0のみ	2	2	1	1	1

《質問7》どのスキル(S1～S6)があなたにとって有益でしたか？

評価	S1	S2	S3	S4	S5	S6
7	2	1	2	2	2	3
6	3	3	2	1	1	2
5		1	2	1	3	1
4	1	1		1		
3						
2						
1						
無回答	2	2	1	4	2	2
0のみ	1	1	2	0	1	1

《コメント 気づいたこと・感想など》

- ・ロールプレイをすることで、家でもできました。
- ・ディスカッションでお話することで気づきが得られた。
- ・ロールプレイを普段することがないので、ここで出来てよかったです。
- ・一つひとつの問題や質問に答えてくれ、質問もしっかり聞いて頂けたのでスッキリでした。
- ・年齢に合わせても教えてくれるので助かりますし、理解もして頂けて、気持ちとしても楽です。
- ・自分がゆとりを持って落ち着く事が大切だと思った。

4名

- ・ロールプレイ(練習)が役立った 4名

- ・他の親にセッションを勧めたい 7名

5. 調査・研究、研修

- 1) 毎月1回 相談員グループスーパービジョン研修実施
- 2) 毎月第2土曜日 電話相談員定例会研修実施
- 3) 12月2日～3日 日本子ども虐待防止学会第23回学術集会 おかやま大会
パネル展示「虐待家族へのサポート資源にもっと予算と人手を！」発表

6. 関連団体との連携活動（コラボレーション）

- 10月20日 認定特定非営利活動法人ローゼンベルグ関係団体連絡協議会
11月6日 NPO 法人ひだまり 懇談会
11月23日 県北児童虐待防止シンポジウム
1月26日 NPO 法人CROSSOVER 虐待問題ヒアリング協力

一般社団法人マザー・ウィングによるホームスタート（訪問型子育て支援）事業に相談員をホームビジターとして、また役員を運営委員として派遣

7. 情報掲載

大和町子育て情報誌「ぼっかぽか」
宮城県自死予防パンフレット「つながりを信じて」
仙台市相談機関一覧 ホームページ 掲載

8. 助成金・寄付

1) 助成金

虐待問題を抱えた母親のためのグループ・ワーク 仙台市補助金交付事業
495,000円

2) 寄付団体

日本基督教団北三番丁教会	15,000円
日本基督教団 仙台松陵教会	10,000円
相談員有志による手芸グループ「青い鳥」	50,000円
社会福祉法人創生会大沢シニアタウン/コカ・コーライーストジャパン	7,788円

3) 物品寄付

- ・イオン仙台店 幸せの黄色いレシートキャンペーンより101,500円相当物品として事務局のパソコンを贈呈されました。
- ・善積、鎌田、墨井相談員より40,700円の高機能FAX機を寄贈されました。

9. 政策提言

1) 仙台市に対し以下の通り、要望書を提出しました。

2019年2月19日

仙台市長 郡 和子 殿

キッズ虐待防止ネットワーク・みやぎ

代表 村松 敦子

子どもの虐待対応についての意見及び要望書

キャプネット・みやぎは1999年10月に設立し、民間団体として、電話相談、虐待問題を抱えた母親グループワーク支援（仙台市助成事業）等を中心に、子どもの虐待防止活動を20年間継続してきました。

仙台市の要保護児童対策地域協議会では設立以来、代表者会議、各区の実務者会議の成員としてネットワーク活動にも協力してきた次第です。

さて、報道によると2019年1月19日、青葉区在住の28歳の母親が生後2ヶ月あまりの双子に十分な栄養を与えず、双子の兄を衰弱死させたとして保護責任者遺棄致死の容疑で逮捕されたとのこと。さらに4人の子どもがいたがその内、長女8才と長男4才は児童相談所に保護され、施設措置されているとのことでした。

2002年から宮城県内で発生した子どもの虐待死ケースは、今回のケースも含め11件ありました。この内仙台市で発生したものは5件です。2008年に1件、2014年に2件、2018年に心中1件、そして今回のケースです。直近5件はすべて仙台市であり、連続しています。

特に今回のケースは児童相談所と関係機関が深く関わっていたという点で他の3ケースとは一線を画すものです。

市長は1月22日の定例記者会見で当該母子の「住所が変わっていたという事態であって、ここはなかなか次の接触を予定していた中でしたから、児童相談所が問題だということはなかなか言えない」という答弁をされています。しかしながら虐待死等の重大なケースは少なくとも検証作業をした上で報告書を開示するのが通例です。2014年に発生した2ケースについても仙台市は報告書をまとめています。それを待たずに記者会見で市長が児童相談所の対応に問題がなかったかのようなコメントを出したことは残念です。

0歳児であるリスク及び同胞が施設措置されていたというリスクがあったのであり、「仙台市児童虐待対応マニュアル」に照らしても児童相談所のリスクアセスメントが適切であったのか、疑問です。

これらのことを踏まえ、以下の通り要望書を提出致します。キャプネット・みやぎは2009年にも同様の提言書を提出していましたが残念ながら市から明確な回答をいただけませんでした。何卒検討の上、ご回答頂きますようお願い申し上げます。

1. 検証委員会に関する提言と要望

- ① 今回のケースについても検証を行うこと。
- ② 検証委員会はスピード感を持って検証を行うこと。

そのための体制を仙台市は整えること

(理由)

仙台市は2014年6月と12月に発生した虐待死の2ケースについて2016年5月に報告書を発表した。重大な虐待ケースの検証の目的は子どもの人権と命を守るために今後のケース対応に活かすことである。検証を丁寧に行う必要があるにしても事象から2年後の発表はあまりにも間延びしている。検証報告には少なくともケース発覚後6ヶ月から1年の期限を設けるよう要望する。

- ③ 今回のケースについては、いつ検証委員会を立ち上げるのか及び検証報告の期間の目処を公表すること

2. 検証結果を活かす工夫はどうかあきらかにされたい

2016年の検証報告では冒頭「これらの事例を通して今後の児童虐待防止の取り組みが強化され、1人でも多くの命を救うことにつながることを願うものである。」としている。そして本編の問題提起と提言では以下のような点が指摘されていた。

- ① たとえ子どもの成長が順調であっても母親の不安が続くことがあるということを、支援者は常に認識しておく必要がある。
- ② 一見して問題がないように見える状態であっても、小さなきっかけで不安が増し養育困難になるなど、注意が必要な場合があることを知っておく必要がある。また市は、母親の不安が生じやすい状況も含め、改めてリスク要因を捉え直し、支援者に対して周知を図ることが必要である。
- ③ 市は、母親の産後の体調の回復やメンタルヘルスの問題について、父親を含め、母親の周囲の人に向けて広く啓発していく必要がある。
- ④ 妊娠期から子育て期までの切れ目ない支援をどのように効果的に実施していくか検討する必要がある。また行政が行う支援の中心的対象となる要支援世帯の効果的な把握方法や支援体制について検討していく必要がある。

上記①乃至④は今回のケースに関連すると思われる。活かされていれば死亡という結果は回避できていたのではないかと。今回の死亡という結果からは、残念ながら活かされていなかったと言わざるを得ない。

検証結果を活かす工夫がなされていたのであれば、お教え戴きたい。今後は検証結果を活かすために、具体的な児童相談所、各区の担当部署の体制強化策、及び要保護児童対策地域協議会における対応、運営体制の改善策を国や他の自治体検証の模倣ではなく、仙台市の実情に応じた独自なものを打ち出すよう要望する。

3. 児童相談所の強化

(1) 児童福祉司の強化

政府は2018年7月20日「児童虐待防止対策の強化に向けた緊急総合対策」(以下、総合対策とする)を閣議決定し、全国の児童相談所に配置されている

3,253人の児童福祉司を2,000人程度増員としている。これは仙台市の人口比で言えば16人程度の増員となる。また児童福祉司一人当たりの担当ケース数を現行の50ケースから40ケース相当に減らす方針も打ち出した。

仙台市の実務者会議では担当ケースが一人当たり70ケースとの報告を受けている。到底子どもの命を守る機能は担保できない数字である。最低でもこのような国の方針の基準に見合う人員強化と専門性向上を要望する。

(2) 児童相談所の増設

総合対策では児童相談所の設置増の促進も挙げられている。児童相談所運営指針よれば「設置数は、人口50万人に最低1か所程度が必要」とされている。この基準からしても仙台市には2箇所の児童相談所が必要であり、増設を要望する。

2) 仙台市議会議員、宮城県議会議員との懇談

- 2月12日 日本共産党仙台市議会嵯峨議員 古久保議員と市の虐待対応について懇談
- 28日 自由民主党宮城県連 外崎女性局長、野田氏と市の虐待対応について懇談

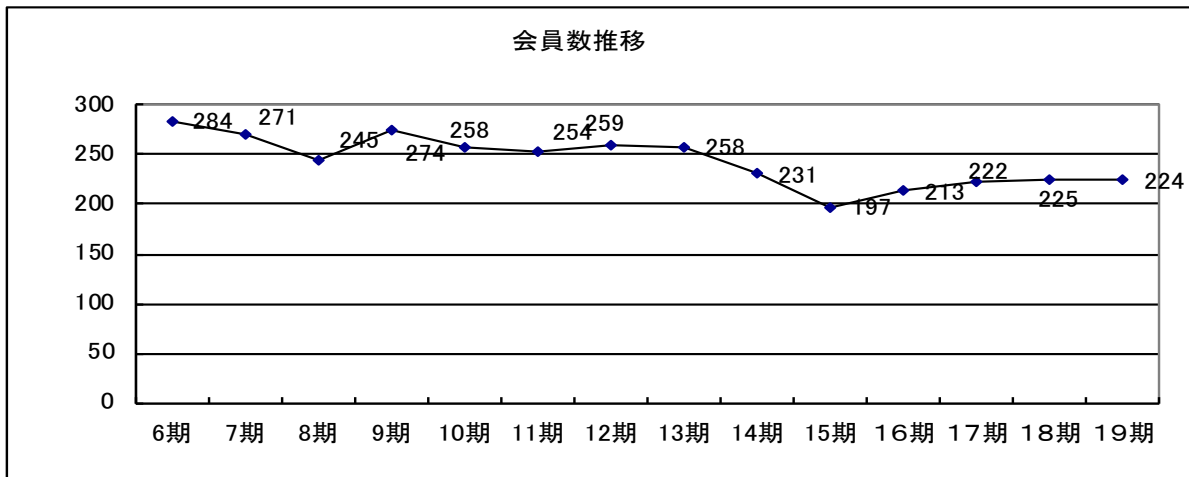
3) 仙台市ひとり親家庭等自立促進計画策定のためのヒアリング協力 11月12日

10. 組織運営

1) 会員数 2019年6月現在

会員内訳	14期	15期	16期	17期	18期	19期
個人	160	141	158	162	168	170
フラワー	41	31	30	36	34	32
団体	6	6	6	5	5	5
特別	19	15	15	16	15	14
法人	5	4	4	3	3	3
学生	0	0	0	0	0	0
合計	231	197	213	222	225	224

会員数推移



キャプネット・みやぎ 第19期 収支報告書 自2018年 4月 1日 至2019年 3月31日

一 般 会 計 の 部

	科 目	金 額	摘 要	参考18期決算
収 入 の 部	会 員 会 費 収 入	667,000	個人・団体・法人	658,000
	寄 付 献 金 収 入	235,435	一般寄付	2,264,882
	企 画 事 業 収 入	398,900	講演会、講座受講料、テキスト代	149,120
	そ の 他 の 収 入	0	上記以外の収入	5,900
	受 取 利 息 (注 1)	28	預金利息	26
	前 期 繰 越 金 額	3,323,579		2,027,150
	収 入 の 部 合 計	4,624,942		5,105,078

	科 目	金 額	摘 要	参考18期決算
支 出 の 部	販 売 品 仕 入 高	64,400	ローズガーデン生花仕入代	70,000
	雑 給 与	180,625	経理 アルバイト	178,500
	企 画 事 業 費	86,842	研修・講座会場費用等	142,905
	交 際 費 / 修 繕 費 ・ 交 際 費	12,376	香典他／ネット修繕費・御礼	29,440
	旅 費 交 通 費	53,800	交通費・駐車料金	40,600
	通 信 運 搬 費	452,718	電話・郵送料等	384,236
	備 品 ・ 消 耗 品 費	48,187	事務所用消耗備品・消耗品	41,490
	事 務 用 品 費	1,092	文具他	7,088
	印 刷 費	78,116	印刷代	51,923
	水 道 光 熱 費	115,711	電気・ガス・水道代等	105,415
	諸 会 費	24,000	関係団体会費・参加費	17,240
	保 険 料	16,630	ボランティア保険	9,900
	研 修 ・ 会 議 費	127,153	Jasocan参加費他	149,460
	地 代 家 賃	480,000	事務所家賃	480,000
	支 払 手 数 料	10,688	振込手数料等	10,744
	特 別 事 業 費	39,726	18母親G自己負担金／17母親G自己負担金	49,379
	雑 費	33,769	その他の経費	13,179
次 期 繰 越 金 額	2,799,109		3,323,579	
支 出 の 部 合 計	4,624,942		5,105,078	

	科 目	金 額		参考18期決算
残 高 明 細	現 金	110,913	一般会計用現金残高	129,962
	仙 台 銀 行 1	687,823	一般会計用預金口座	964,865
	仙 台 銀 行 2	1,539	一般・基金併用預金口座の内	1,525
	七 十 七 銀 行 1	0	一般・特別併用口座の内	0
	七 十 七 銀 行 3	865,949	一般・特別併用口座の内	370,942
	郵 便 振 替 口 座	610,182	会費・受講料等振込口座	1,333,582
	郵 便 貯 金	27,703	一般会計用預金口座	27,703
	未 収 入 金	495,000	18母親G助成金／17母親G助成金	495,000
	合 計	2,799,109		3,323,579

注1 預金利息は全額一般会計の収入の部に計上いたしました。

第 1 9 期 合 計 損 益 計 算 書 及 び 貸 借 対 照 表

勘 定 科 目		一般会計	2018母親G会計	基金会計	合 計
収入の部	会 員 会 費 収 入	667,000	0	0	667,000
	寄 付 献 金 収 入	235,435	0	0	235,435
	企 画 事 業 収 入	398,900	0	0	398,900
	そ の 他 の 収 入	0	0	0	0
	助 成 金 収 入	0	495,000	0	495,000
	自 己 負 担 金	0	39,726	0	39,726
	収 入 金 額 合 計	1,301,335	534,726	0	1,836,061
原価	期 首 販 売 品 棚 卸	0	0	0	0
	販 売 品 仕 入 高	64,400	0	0	64,400
	期 末 販 売 品 棚 卸	0	0	0	0
	販 売 品 原 価	64,400	0	0	64,400
差 引 損 益		1,236,935	534,726	0	1,771,661
費用支出の部	雑 給 与	180,625	0	0	180,625
	修 繕 費	0	0	0	0
	企 画 事 業 費	86,842	0	0	86,842
	広 告 宣 伝 費	0	0	0	0
	謝 金	0	197,400	0	197,400
	交 際 費	12,376	0	0	12,376
	印 刷 費	78,116	0	0	78,116
	旅 費 交 通 費	53,800	165,630	0	219,430
	通 信 運 搬 費	452,718	15,564	0	468,282
	消 耗 品 費	48,187	891	0	49,078
	事 務 用 品 費	1,092	0	0	1,092
	支 払 手 数 料	10,688	432	0	11,120
	水 道 光 熱 費	115,711	0	0	115,711
	新 聞 図 書 費	1,590	0	0	1,590
	諸 会 費	24,000	0	0	24,000
	保 険 料	16,630	3,000	0	19,630
	パ ー キ ン グ		0	0	0
	機 材 購 入 費		0	0	0
	研 修 ・ 会 議 費	127,153	0	0	127,153
	地 代 家 賃	480,000	0	0	480,000
寄 付 金		0	0	0	
会 場 賃 借 料		148,240	0	148,240	
雑 費	32,179	3,569	0	35,748	
特 別 事 業 費	39,726	0	0	39,726	
費 用 合 計	1,761,433	534,726	0	2,296,159	
再 差 引 損 益		△ 524,498	0	0	△ 524,498
他	受 取 利 息	28	0	0	28
1 8 期 損 益		△ 524,470	0	0	△ 524,470
前 期 繰 越 損 益		3,323,579	0	1,690,000	5,013,579
未 処 分 損 益		2,799,109	0	1,690,000	4,489,109
資産	現 金	110,913	0	0	110,913
	仙 台 銀 行 1	687,823	0	0	687,823
	仙 台 銀 行 2	1,539	0	1,690,000	1,691,539
	七 十 七 銀 行 1	0	0	0	0
	七 十 七 銀 行 3	865,949	0	0	865,949
	郵 便 振 替 口 座	610,182	0	0	610,182
	郵 便 貯 金	27,703	0	0	27,703
	未 収 入 金 (注 2)	495,000	0	0	495,000
資 産 合 計		2,799,109	0	1,690,000	4,489,109
負債	仮 受 金	0	0	0	0
	負 債 合 計	0	0	0	0

注2 17母親G助成金は30.5.8入金されました。18母親G助成金(未収入金)は、一般会計口座に入金予定であります。

2019年3月～7月

活動報告

毎週木曜日母親グループ
毎月第2土曜日相談員定例会

- 3月 1日 若林区要保護児童対策地域協議会 実務者会議
9日 第21期電話相談員オリエンテーション
- 4月 6日 河北新報社 取材
13日 運営委員会
14日 Crossover イベント 講師派遣
20日 仙台カウンセリング研究会研修 講師派遣
- 5月 8日 福島県議会議員懇談
14日 河北新報社 取材
23日 宮城総合支所子育て支援ネットワーク研修 講師派遣
25日 運営委員会
30日 個別ケース検討会議
- 6月 5日 東松島市要保護児童対策地域協議会研修 講師派遣
8日 第20期 総会
24日 仙台市要保護児童対策地域協議会 代表者会議
26日 青葉区宮城総合支所保護児童対策地域協議会 実務者会議
28日 宮城野区保護児童対策地域協議会 実務者会議
青葉区保護児童対策地域協議会 実務者会議
29日 個別ケース検討会議 宮城総合支所
- 7月 4日 泉区保護児童対策地域協議会 実務者会議
3日 太白区保護児童対策地域協議会 実務者会議
5日 NHK 仙台放送局 取材
6日 個別面接① 個別面接② 個別面接③
9日 若林区要保護児童対策地域協議会 実務者会議
10日 富谷市要保護児童対策地域協議会 実務者会議
13日 運営委員会
24日 個別面接
25日 仙台市への虐待対応要望書に対する回答



子ども虐待防止基礎講座 第22期電話相談員養成講座

虐待問題に関わる、すべての方のために公開講座として開催します。
希望する講座のみの受講も受け付けます。

また、関係機関の研修としてもお役立てください。

日時	講師名	講座内容	会場
9月 7日 (土) 10:00~12:00	仙台市立病院副院長 小児科医 村田 祐二	虐待の要因と背景	仙台市福祉プラザ 第3研修室
9月14日 (土) 14:00~16:00	東北会病院院長 精神科医 石川 達	虐待者の支援	仙台市福祉プラザ 第2研修室
9月28日 (土) 10:00~12:00	東北会病院 ソーシャルワーカー 鈴木 俊博	虐待防止の制度と資源	仙台市市民活動サポートセンター 第5研修室
10月 5日 (土) 10:00~12:00	弁護士 村松 敦子	子ども虐待とは キャブネットみやぎの活動について	仙台市市民活動サポートセンター 第5研修室
10月 5日 (土) 13:00~15:00	ワナクリニック カウンセラー 大和田 誠子	自分を知るワーク	仙台市市民活動サポートセンター 第5研修室

受講料 1講座 2,000 円
 全講座 10,000 円

応募方法

FAX 申込用紙に必要事項を記入の上事務局まで FAX またはメールで送信後、締切り期日までに郵便局から下記の郵便振替口座に受講料をお振込み下さい。なお振込用紙の通信欄に基礎講座受講料と明記し、振込領収証を受講日初日にお持ち下さい。他に申込手続きは一切不要です。(振込には若干の手数料がかかりますので予め御了承下さい)

郵便振替口座番号 02270-9-43657
口座名義 子ども虐待防止ネットワーク・みやぎ

一旦お申込後の取り消し返金はできませんのでご了承ください。

応募締切 2019年8月30日(金)

左記の事項を明記してメールでも受け付けます。

会員更新 ご寄附 ありがとうございます。

2019年3月～7月

順不同 敬称略

<個人会員>

佐竹節子 佐藤せつ子 加藤真由美 矢嶋加代子 荒中 古積路子 齋藤智子 師研也
蛭名隆三 小野敦子 小野精華 高木ひろ子 大塚憲治 安部紀司 齋藤一枝 千葉敏子
中野憲司 長谷川淳子 福田一彦 浅野孝雄 加藤裕子 佐藤わか子 松田雅子 三星亜子
三浦摂郎 池田正代 根元こづえ 福島かずえ 大内真理 山田かつ子 横山浩之 金沢貴彦
遠藤克子 増子よし子 遠藤和子 丸山水穂 鎌田茂斗子 田中美恵子 南條紘 伊藤淳子
立野美菜子 上村文子

<フラワー会員>

木村和子 村松敦子 佐々木誠治 内田正之 官澤里美 田中千鶴子 小原昭子 安齋千佳子

<団体会員>

鳴子こども園

<特別会員>

村田祐二 板橋税理士事務所 大沼セツ子 善積則子

<法人会員>

東北会病院

<ご寄付>

泉大沢シニアタウン 橋本昭浩 齋藤智子 善積則子 高木ひろ子 志賀野宏 岩本幸子

子ども虐待防止ネットワーク・みやぎ
〒980-0812 宮城県仙台市青葉区片平 1-5-20-5F
半澤・村松法律事務所内
TEL/FAX 022-265-8867
mail zimukyoku@capnetmiyagi.org
URL <http://capnetmiyagi.org>